

た。

また、10月以降は東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故による放射性セシウムの飛散による影響で椎茸の販売を自粛したため、乾燥シイタケ製品4.7kgと10月以降に収穫した未選別の乾燥椎茸12.4kgの販売を取り止めた。尚武沢から生産されるコナラ原木の放射性セシウム濃度が指標値（150 Bq/kg：平成23年10月時点）を超えたため、

平成24年度以降は原木椎茸の生産を見合わせ、経過を見るために小規模での栽培を残して徐々にホダ木を処分することとなった。すなわち、昨年度植菌したホダ木のうち、森908を植菌した8.0m³分を1号ホダ場に伏せこんだ。キノックスS055号を植菌した0.7m³分を21号ホダ場に伏せこんだ。23年度のシイタケ種菌には低温菌の森908を原木2.0m³（100本）に使用した。

表8-2 植林・保育

| | | 予定数量 (ha) | 実施数量 (ha) | 間伐率 |
|----------|---------------|-----------|-----------|-----|
| 切捨間伐 | 13タ2 | 4.30 | 3.76 | 41% |
| 切捨間伐 | 13タ3 | 3.30 | 3.40 | 53% |
| 切捨間伐 | 14を2 | 1.00 | 0.00 | - |
| 切捨間伐・枝払い | 14よ2 | 0.30 | 0.00 | - |
| 枝払い | 9ほ1ヒノキ | 0.70 | 0.69 | - |
| 除伐・下刈 | 3号西防風林 | 0.70 | 0.00 | - |
| 除伐・下刈 | 3号西防風林（マツ・雑木） | 0.00 | 0.13 | - |

表8-3 きのこと生産

| 種 類 | 予定数量(kg) | 実績数量(kg) | 金額(万円) |
|-------|----------|----------|--------|
| 生シイタケ | 100.0 | 59.5 | 3.6 |
| 乾シイタケ | 400.0 | 301.1 | 198.2 |
| 合 計 | | | 201.8 |

9. 機械関係

当センター・複合陸域生産システム部で保有する農業機械（トラクタ、作業機）・車両・重機などの保守点検および管理は、環境基盤整備科が担当している。

農作業の中心となるトラクタは、平成10年移行更新されておらず、車両、作業機も同様に更新が出来ない現状にある。したがって、運転中及び作業中の故障等より作業に支障のないよう、使用前の始業点検と整備を心がけ、常に細心の注意を払い、良好な状態に保てるように努めた。作業機・車両・重機などもトラクタと同様に、耐用年数が過ぎた機械が多い為、機械の清掃・注油などに注意を払った。

平成23年度の故障は次のとおりである。作業機では、モアコンローラー部のベアリングが破損し、当センターで修理した。車両では、フォークリフトのエンジン内部のシリンダーが働かず、エンジンオイル内に燃焼しなかった軽油が入り込むようになった。まったく作業できない状態になったため、廃棄した。

表9-1 平成23年度作物別トラクタ利用面積及び利用時間

| 作物及び係名 | 面積 (ha) | 延利用時間 (h:m) | 面積当利用時間 (h/ha) |
|-----------|---------|-------------|----------------|
| 水 稲 | 5.91 | 252.5 | 42.7 |
| 小 豆 | 0.00 | 0 | 0.0 |
| ラ イ 麦 | 0.03 | 11.3 | 376.7 |
| バ レ イ シ ョ | 0.38 | 69 | 181.6 |
| 人 参・牛 蒡 | 0.20 | 37.5 | 187.5 |
| ナ ガ イ モ | 0.10 | 36.5 | 365.0 |
| 果 樹 | 2.36 | 36 | 15.3 |
| デントコーン | 6.80 | 208 | 30.6 |
| 牧草（採草） | 37.05 | 485.5 | 13.1 |
| 牧草（放牧） | 19.86 | 81.5 | 4.1 |